

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)CPD厚木物流センター開発計画	階数	地上4F
建設地	神奈川県厚木市下川入字三ノ城127番1 ほか29筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 予定	評価の実施日	2017年4月17日
敷地面積	25,160 m ²	作成者	サンエス建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	15,956 m ²	確認日	2017年4月17日
延床面積	56,671 m ²	確認者	サンエス建設株式会社一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.3

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合	神奈川県厚木市に計画された物流施設である。省エネ性能(効率的な設備機器の導入)と外構緑化(屋外空間)に対する配慮を中心に積極的な環境負荷の低減に配慮した。	その他 特になし
Q1 室内環境	評価対象外	Q2 サービス性能 建物の維持管理における設備、躯体等の各項目に配慮している(階高、床荷重、空間の自由度に余裕を持たせた計画)
Q3 室外環境(敷地内)		緑化を中心に屋外環境に関する項目に配慮をしている
LR1 エネルギー	高効率な設備機器を導入し、エネルギーの効率的利用に配慮(BEIm = 0.50 省エネ性を確保)	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材や発泡剤を使用していない断熱の採用、有害物質を含まない建材等の採用などに配慮している
		LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用しないなど、温熱環境悪化に対する配慮を行い、ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)の76% 交通負荷抑制等に配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される